

MCPC award 2010 奨励賞

中央電力株式会社

検針データのモバイル送信で正確さとスピードをアップ

「電気を使ってトクをする」をキャッチコピーにマンション電力一括契約サービスなどを提供する中央電力は、総合エネルギーサービス業である。

利用者への請求には、毎月、電気使用量検針業務が必要になるが、これまでは検針員が読み取った値を手書きで記入し、検針表を取りまとめてパソコンに入力後、中央電力のシステムで管理していた。

手作業であるゆえ、書き間違いや入力間違いなどのリスクが高く、請求に関わる大事な業務であるため、正確で作業効率の高いシステムが求められた。

そこで、中央電力では、NTTドコモのスマートフォン「T-01A」(東芝製)とソランのASPサービス「ビジネス電書鳩 Re:port」を組み合わせた新システムを導入。スマートフォンを使って検針値を入力

>>> DATA

業種	サービス業(総合エネルギーサービス)
活用分野	顧客先の電気使用量検針データ入力および送信の正確化、効率化
テクノロジー	スマートフォン、ASPサービス、社内システムとの連携

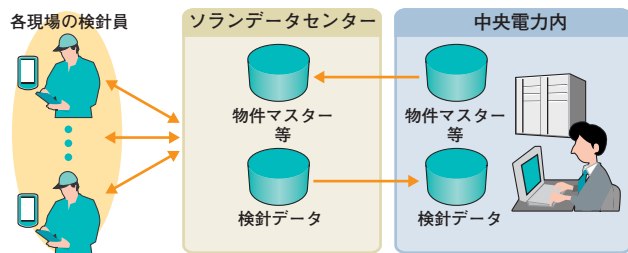
しその場でデータセンターに送信。このデータを中央電力の基幹システムと連携させた。

さらに、誤入力を防ぐために、前回の数値との差が一定を超えると警告する仕組みも取り入れ正確さを保っている。

スマートフォンとASPという汎用サービスを組み合わせることで、導入費用はハンディーターミナルなどの専用システムを利用した場合の約10分の1に抑えられた。

導入後は月間検針作業が2~3日短縮され、また記録用紙を郵送する手間や時間的なロスもなくなった。またシステムで検針を行っていることにより、顧客であるマンション住民からの信頼感や安心感を得ているという。

図 電力検針システムの概要



検針で使用している
T-01A

Profile

中央電力株式会社
<http://www.denryoku.co.jp/>

本社所在地

大阪府大阪市中央区本町
2-2-7 本町ビル

事業内容

マンション電力一括契約サービス、省エネサービス、ビルサービスを手がける総合エネルギーサービス業